

婚活実態調査2022

- ✓ 2021年の婚姻者のうち、婚活サービスを利用して結婚した人は15.1%。
ネット系婚活サービスを通じて結婚した割合が最も高かった。
- ✓ 独身者（※）における婚活サービス利用者で恋人ができた割合は過去4年連続上昇しており、2021年は45.1%と過去最高を記録。
- ✓ 婚活サービス利用者については、利用モチベーションやサービスのイメージが新型コロナウイルス流行前と比較して上昇している。

※恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する『リクルートブライダル総研』では、婚活の実態について詳細を把握するため、「婚活実態調査2022」を実施しました。ここに、結果の要旨をご報告致します。

各年の婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人の割合は過去2年連続上昇し、過去最高を記録（P4-7）

- 2021年の婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は15.1%となっており、その内訳ではネット系婚活サービスを通じて結婚した割合が最も高かった。
- 2021年の婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は34.1%と過去最高に。
婚活サービス利用者においては、44.2%が結婚に至っている。
- 婚活において、実施（利用）によって結婚に至った人の割合は、婚活サイト（40.2%）や結婚相談所（34.1%）、知人に紹介を依頼（20.0%）、趣味や習い事で相手を探す（19.5%）、婚活パーティ・イベント（18.3%）となっており、婚活サイトを利用して結婚した人の割合が最も高い。

恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者の25.3%に婚活サービス利用経験あり、婚活サービス利用によって恋人ができた割合は年々上昇（P8-11）

- 恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者において、25.3%が婚活サービスの利用経験があると回答。
- 2021年の婚活サービス利用によって恋人ができた割合は45.1%となっており、過去4年連続上昇し、過去最高を更新。
- 各年に婚活サービスを新規で利用を開始し、恋人ができた割合も過去2年連続上昇。2021年に新規で利用を開始した婚活サービス利用者のうち、17.7%が恋人ができたと回答。

婚活サービス利用者の新型コロナウイルス収束後の利用意向は高く、非利用者についても約3割が今後の利用を検討（P12）

- 婚活サービスの現在利用者における今後の利用意向は、高い順からネット系婚活サービス(92.0%)、婚活パーティ・イベント(80.6%)、結婚相談所(70.4%)。
- 婚活サービス非利用者における今後の利用意向については、約3割程が今後の利用を検討。

婚活サービス利用者における婚活サービスに対する意識は新型コロナウイルス流行中も前向き（P13）

- 婚活サービス利用者の約4割以上が「婚活（恋活）サービスに対するイメージ」「婚活（恋活）サービスを利用するモチベーション」について新型コロナウイルス流行前よりも高まったと回答。
- 「婚活（恋活）サービスを利用する頻度や時間」「婚活のために自分磨きをする時間」「婚活（恋活）サービスでのマッチング数」についても約3割が新型コロナウイルス流行前よりも増えたと答えており、低下した人よりも多かった。

■2022年調査(2021年のデータ) 1次調査

- 【調査方法】 インターネットによるアンケート調査
- 【調査期間】 2022年6月3日(金)～2022年6月5日(日)
- 【調査対象】 全国の20～49歳の男女
- 【有効サンプル数】 50,000サンプル
(調査にて120,001サンプルを回収し、その中から令和2年国勢調査結果(総務省統計局)をもとに、未既婚×性別×年代(5歳刻み)24セルの人口構成比に合わせて50,000サンプルを抽出した)

■2022年調査 2次調査

- 【調査方法】 インターネットによるアンケート調査
- 【調査期間】 2022年6月10日(金)～2022年6月16日(木)
- 【調査対象】
 - <共通条件>
全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者)
 - ※独身者とは、結婚経験のない未婚者および結婚経験のある(死別・離別の)現在未婚者
 - <個別条件>
 - ・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人
 - ・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人
- 【有効サンプル数】 2,400サンプル
本調査では、婚活サービス利用有無・性別・年代・未婚状況別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に、実際の婚活サービス利用有無(1次調査)、性別・年代・未婚状況別の人口構成(令和2年国勢調査結果(総務省統計局))に合わせるために、サンプルに重みづけを行った(ウェイトバック集計)
ウェイトバックに使用した補正値は、1次調査を用いて各セルの出現率をもとに算出した

<本調査回収サンプル構成>

利用者									非利用者										
結婚経験なし						結婚経験あり(死別・離別)			結婚経験なし				結婚経験あり(死別・離別)						
子なし						子あり			子なし				子あり						
男性			女性			男性	女性	男性	女性	男性			女性			男性	女性	男性	女性
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代		20～40代		20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代		20～40代	
150	150	150	170	170	110	149		149		150	150	150	150	150	150	151		151	



<ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成(全体構成比)>

79	22	7	53	15	5	10	18	469	308	318	460	221	221	80	112
(3.3%)	(0.9%)	(0.3%)	(2.2%)	(0.6%)	(0.2%)	(0.4%)	(0.8%)	(19.5%)	(12.9%)	(13.2%)	(19.2%)	(9.2%)	(9.2%)	(3.3%)	(4.7%)

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。 人口構成比算出元データ 令和2年国勢調査結果(総務省統計局)より

■過去実施調査(2016～2021年調査)

【調査方法】	調査年	1次調査		2次調査	
		調査期間	調査対象者	調査期間	調査対象者
インターネットによるアンケート調査	2021年調査	2021年5月28日(金)～2021年6月3日(木)	全国の20～49歳の男女	2021年6月5日(土)～2021年6月10日(木)	インターネットによるアンケート調査
	2020年調査	2020年5月15日(金)～2020年5月19日(火)		2020年5月22日(金)～2020年5月24日(日)	
	2019年調査	2019年5月20日(月)～2019年5月27日(月)		2019年5月27日(月)～2019年5月31日(金)	
	2018年調査	2018年5月14日(月)～2018年5月22日(火)		2018年5月24日(木)～2018年6月6日(水)	
	2017年調査	2017年5月16日(火)～2017年5月23日(火)		2017年5月19日(金)～2017年5月23日(火)	
2016年調査	2016年3月19日(土)～2016年3月29日(火)	2016年3月25日(金)～2016年3月29日(火)			
50,000サンプル	2021年調査	<共通条件> 全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者) <個別条件> ・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人 ・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人			
	2020年調査				
	2019年調査				
	2018年調査				
	2017年調査				
2016年調査					
2,400サンプル	2021年調査	<共通条件> 全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者) <個別条件> ・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人 ・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人			
	2020年調査				
	2019年調査				
	2018年調査				
	2017年調査				
2016年調査					

利用者										非利用者							
結婚経験なし					結婚経験あり(死別・離別)					結婚経験なし				結婚経験あり(死別・離別)			
子なし					子あり		子なし			子なし				子あり		子なし	
男性		女性			男性		女性			男性		女性		男性		女性	
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20～40代	
<2021年本調査回収サンプル構成>																	
150	150	150	172	172	106	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
<2021年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>																	
82	25	10	68	20	4	7	10	491	338	310	428	223	216	81	87		
(3.4%)	(1.0%)	(0.4%)	(2.8%)	(0.8%)	(0.1%)	(0.3%)	(0.4%)	(20.4%)	(14.1%)	(12.9%)	(17.8%)	(9.3%)	(9.0%)	(3.4%)	(3.6%)		
<2020年本調査回収サンプル構成>																	
150	150	150	161	176	113	150	130	150	150	150	150	150	150	150	150	150	170
<2020年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>																	
97	36	15	84	35	9	10	13	477	329	297	433	214	204	70	76		
(4.0%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.5%)	(1.5%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(19.9%)	(13.7%)	(12.4%)	(18.0%)	(8.9%)	(8.5%)	(2.9%)	(3.2%)		
<2019年本調査回収サンプル構成>																	
150	150	150	158	158	134	150	136	150	150	150	150	150	150	150	157	157	
<2019年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>																	
80	36	15	77	39	9	11	14	489	328	289	436	216	202	70	87		
(3.3%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.2%)	(1.6%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(20.4%)	(13.7%)	(12.1%)	(18.2%)	(9.0%)	(8.4%)	(2.9%)	(3.6%)		
<2018年本調査回収サンプル構成>																	
150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
<2018年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>																	
53	26	11	58	28	5	6	5	508	338	292	449	226	209	88	98		
(2.2%)	(1.1%)	(0.5%)	(2.4%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.2%)	(21.2%)	(14.1%)	(12.2%)	(18.7%)	(9.4%)	(8.7%)	(3.7%)	(4.1%)		
<2017年本調査回収サンプル構成>																	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250
<2017年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>																	
38	26	9	54	29	6	6	5	528	338	290	456	226	204	27	61	50	47
(1.6%)	(1.1%)	(0.4%)	(2.2%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(22.0%)	(14.1%)	(12.1%)	(19.0%)	(9.4%)	(8.5%)	(1.1%)	(2.6%)	(2.1%)	(2.0%)
<2016年本調査回収サンプル構成>																	
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250	250
<2016年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>																	
44	33	8	62	36	6	9	6	534	372	220	476	224	138	38	100	46	47
(1.8%)	(1.4%)	(0.3%)	(2.6%)	(1.5%)	(0.3%)	(0.4%)	(0.3%)	(22.3%)	(15.5%)	(9.2%)	(19.8%)	(9.3%)	(5.8%)	(1.6%)	(4.2%)	(1.9%)	(2.0%)

※2022年調査と同様にウェイトバック集計を行った。人口構成比算出元データは2021年調査、2020年調査、2019年調査、2018年調査、2017年調査は平成27年国勢調査結果(総務省統計局)、2016年調査は平成22年国勢調査結果(総務省統計局)。

<その他>

※P5下のグラフは2019年調査(2018年婚姻)より集計方法を変更しています。同条件とするために、2018年以前調査を過去に遡及して再集計を行ったため、2018年調査までの公表数値と異なります。

※小数点以下第二位を四捨五入している関係で、差分や合計値において、グラフ上の数値の単純計算と数値が異なる場合があります。

婚活サービスを通じて結婚した人の割合

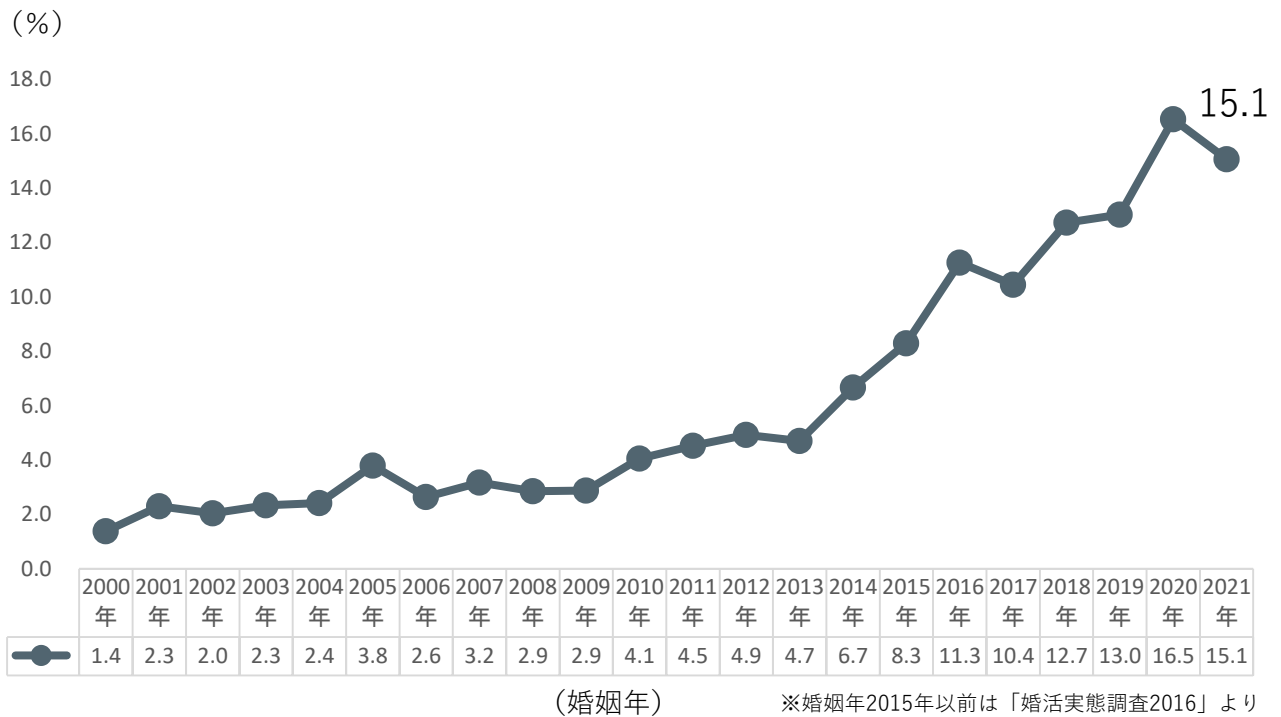
2021年の婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人は15.1%。
特にネット系婚活サービスを通じて結婚した割合が高い。

■ 婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査／各年に結婚した人／単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

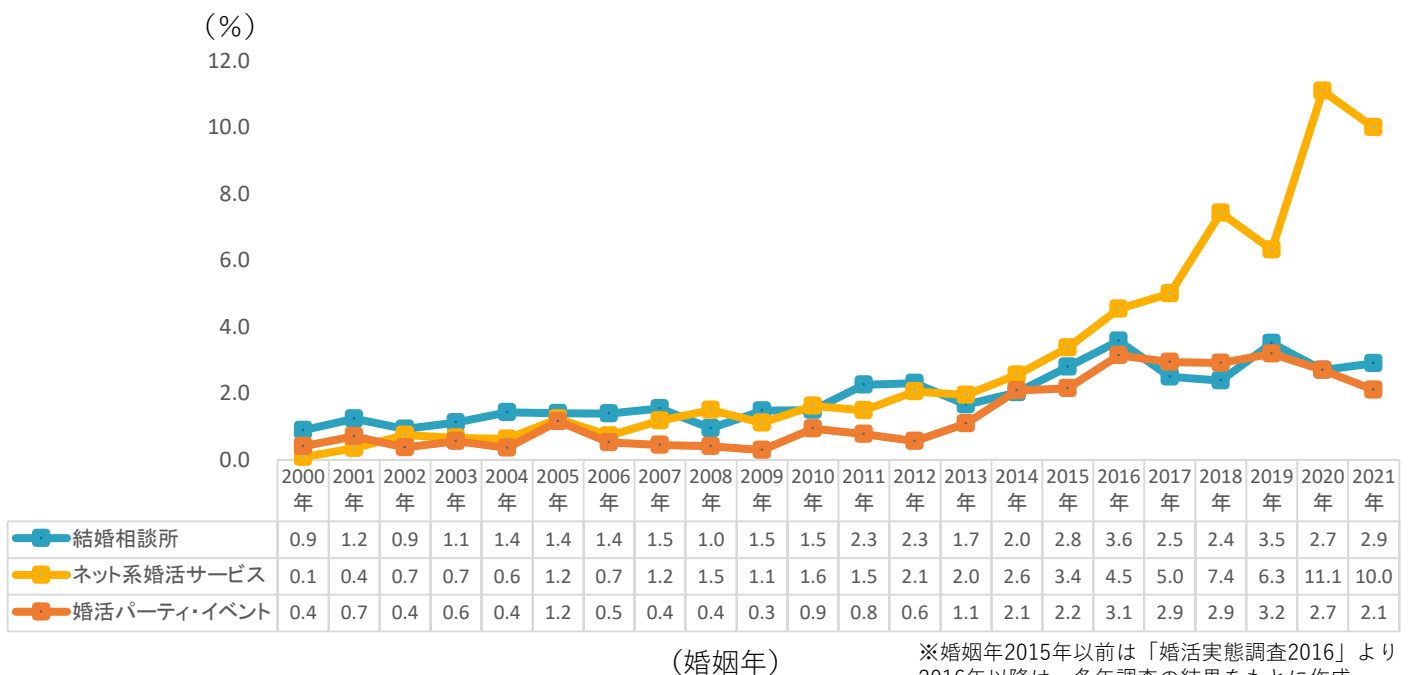
※婚活サービス（3サービス）のいずれかを利用し、そのサービスで「結婚できた」と回答した人の割合

※既婚者：初婚者および再婚者も含む



※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

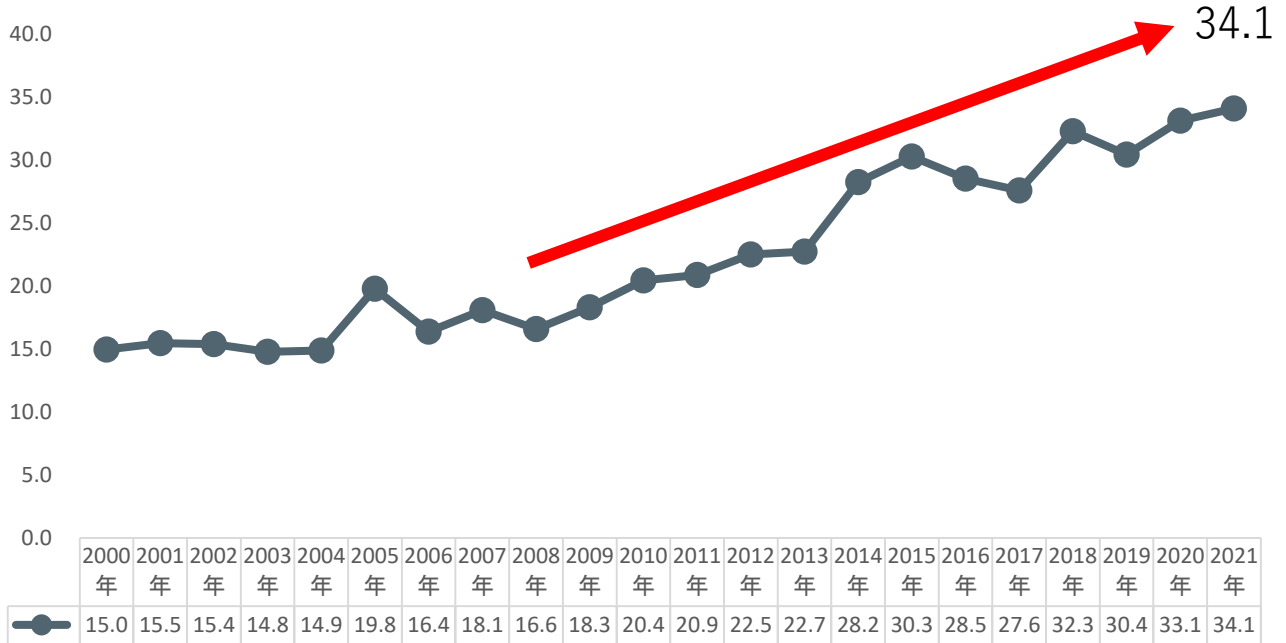
■ 婚活サービスごとの婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査/婚活サービスごと／各年に結婚した人／単一回答）



※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

2021年の婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は34.1%と過去最高に。
婚活サービス利用者においては、利用者のうち44.2%が結婚に至っていた。

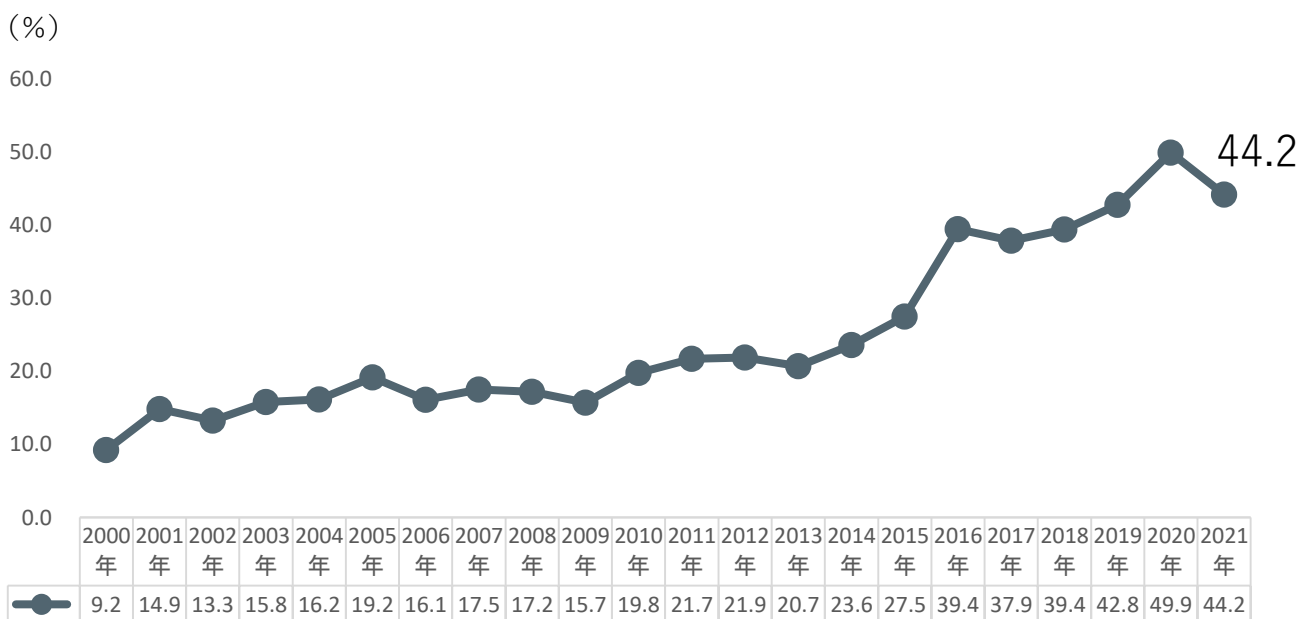
■ 各年に結婚した人のうち、婚活サービスを利用していた人の割合（1次調査/各年に結婚した人/単一回答）
（%）



（婚姻年）

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

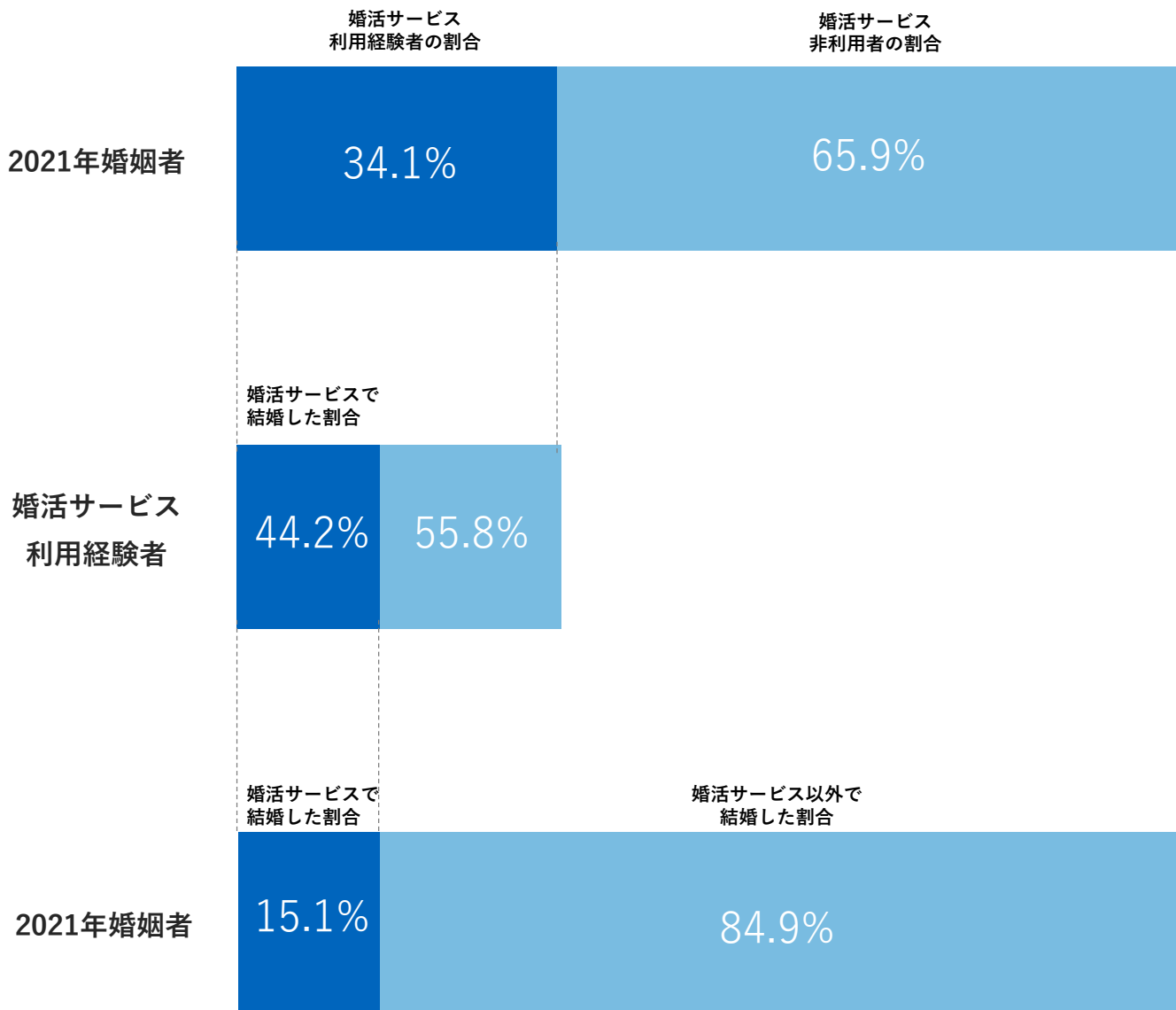
■ 婚活サービスを利用していた人のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査/各年に結婚した人のうち、
いずれかの婚活サービス利用者/単一回答）



（婚姻年）

※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

【P4・P5：2021年の婚姻者のうち婚活サービスを通じて結婚した人の割合に関する構造図】

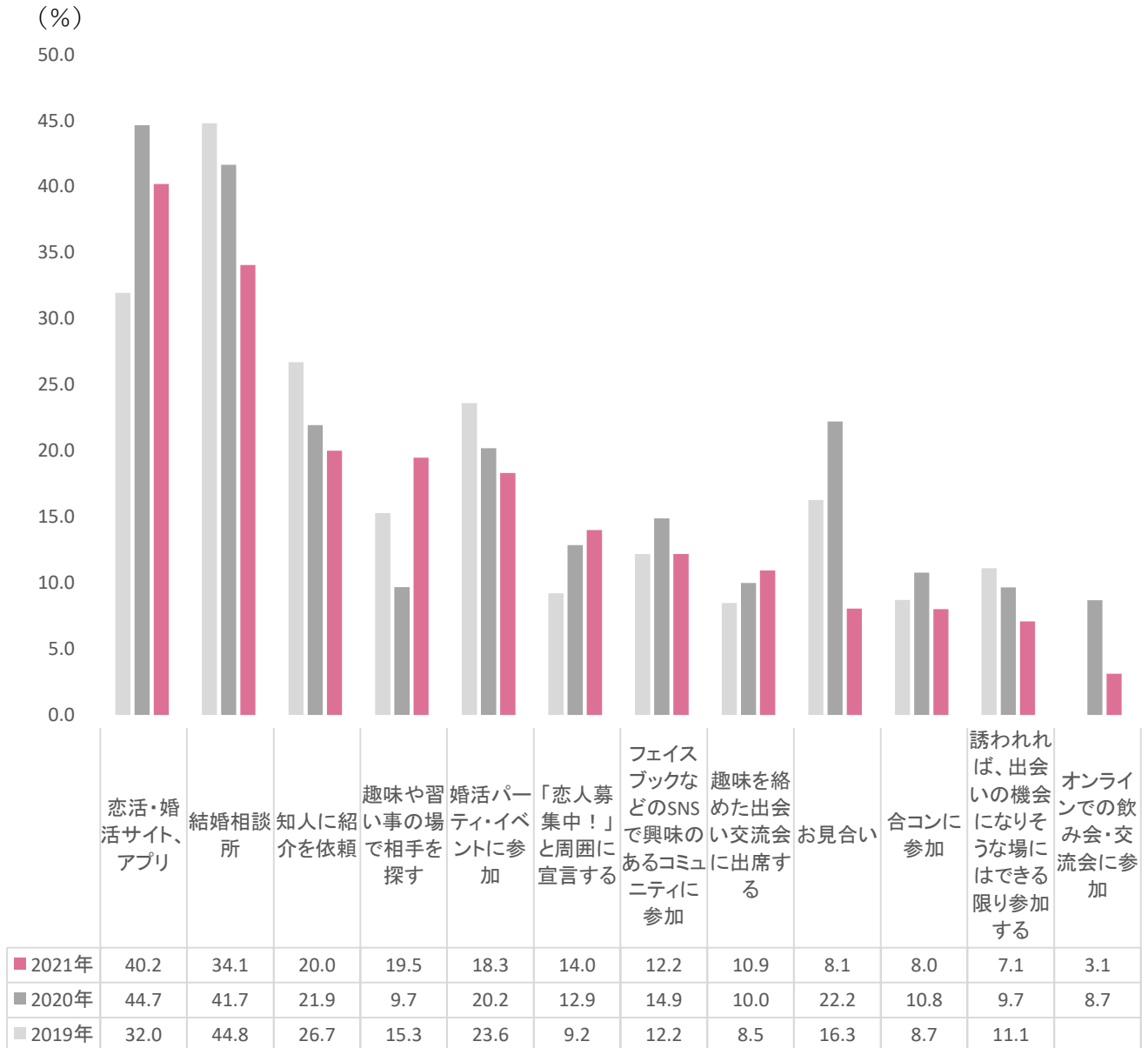


広義の婚活実施（利用）ごとの結婚した人の割合

婚活において、実施（利用）によって結婚に至った人の割合は、婚活サイト（40.2%）や結婚相談所（34.1%）、知人に紹介を依頼（20.0%）、趣味や習い事で相手を探す（19.5%）、婚活パーティ・イベント（18.3%）。

婚活サイトを利用して結婚した人の割合が最も高い。

- 実施（利用）した婚活によって、結婚した人の割合（1次調査/各年に結婚した人のうち、各婚活を実施（利用）した既婚者/各項目単一回答）



※「オンラインでの飲み会・交流会に参加」は2020年から項目に追加

(婚姻年)

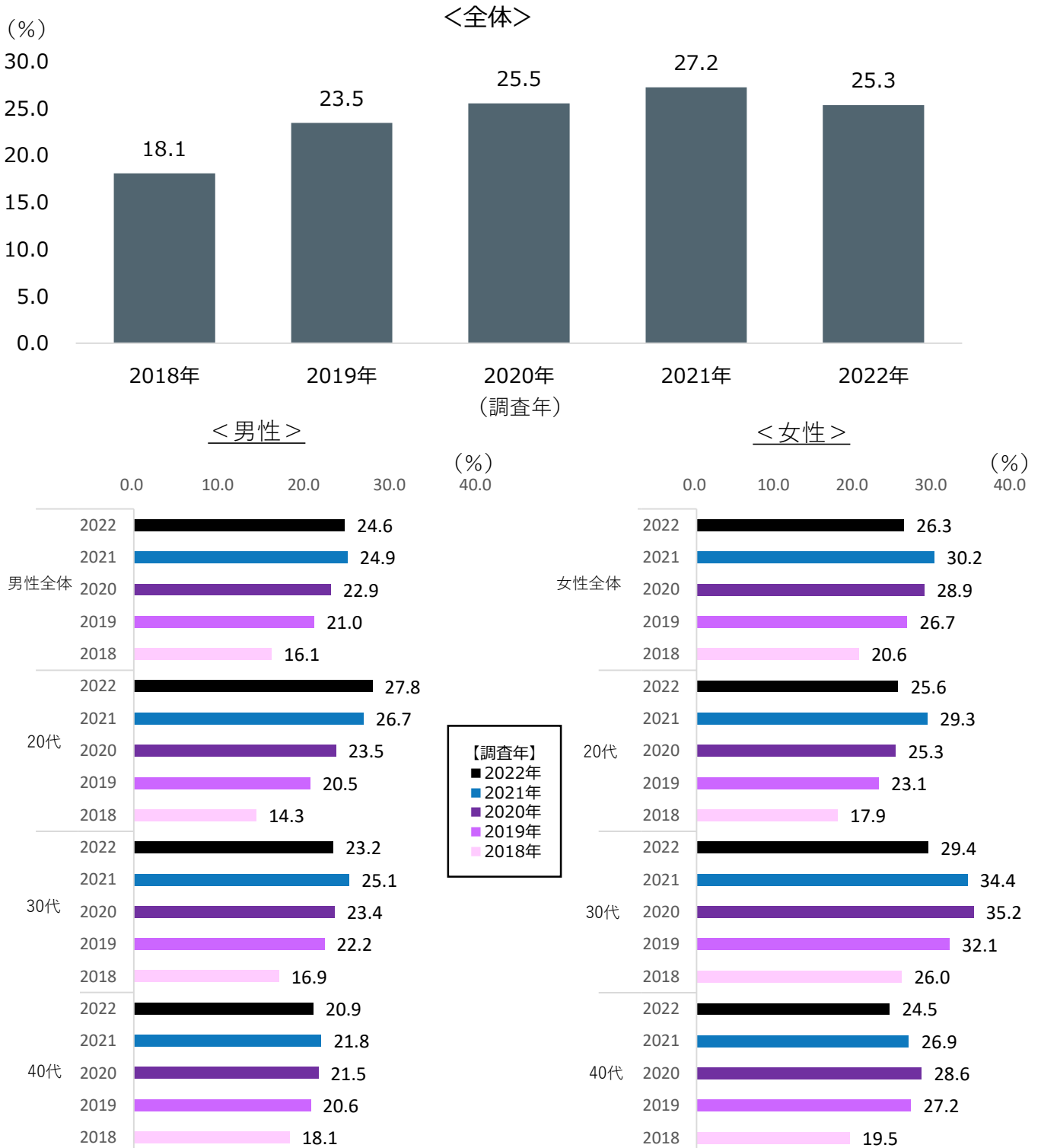
独身者の婚活サービスの利用経験（全体・性年代別）

恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者において、婚活サービスの利用経験は25.3%で約4人に1人が利用。20代男性の利用については過去4年連続上昇しており過去最高。

■ 婚活サービスの利用経験割合【全体・性年代別】（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

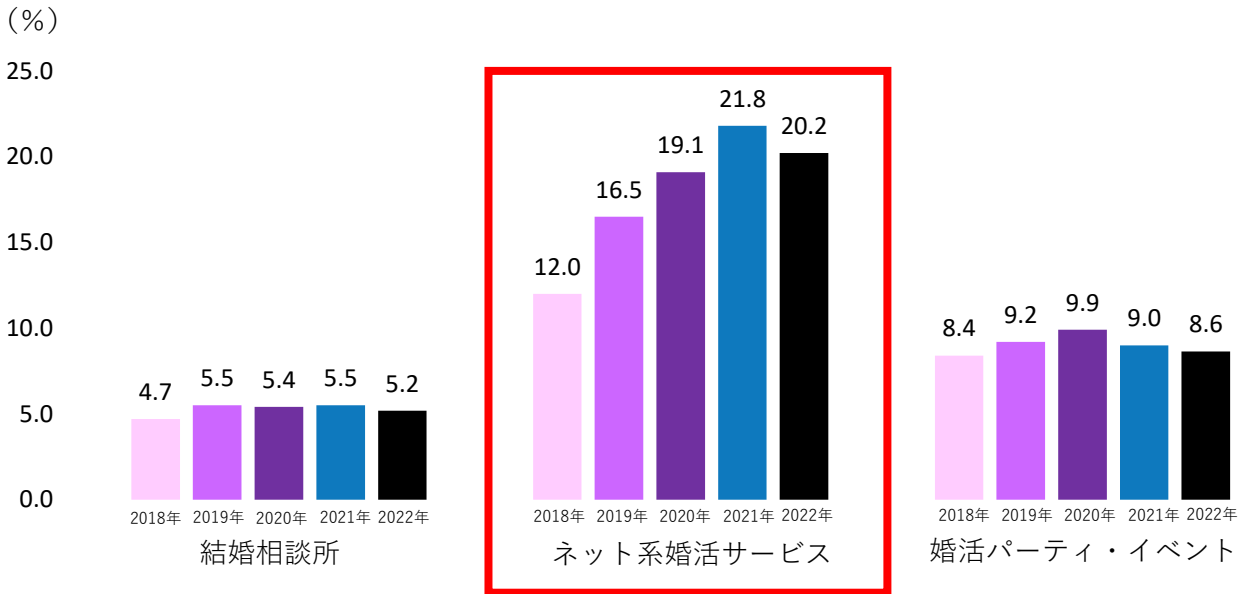
※独身者：結婚経験のない未婚者および結婚経験のある（死別・離別の）現在独身者



独身者の婚活サービスの利用状況（サービス別×性別）

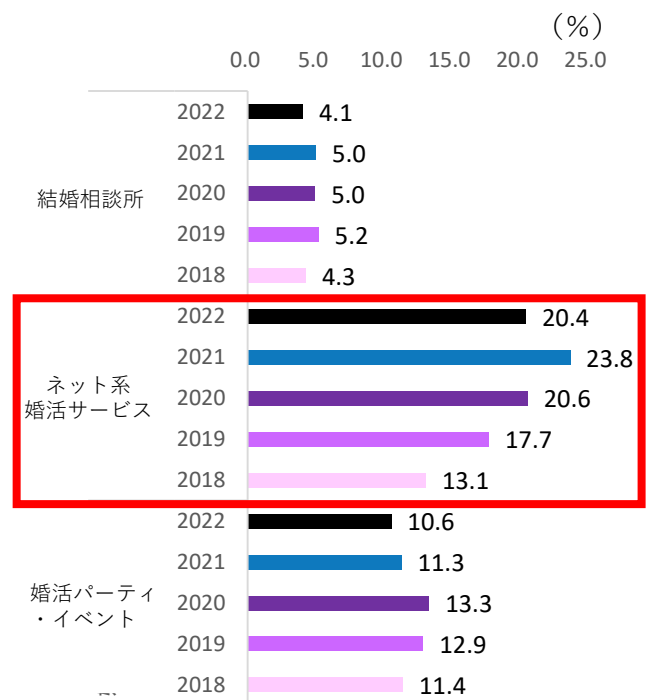
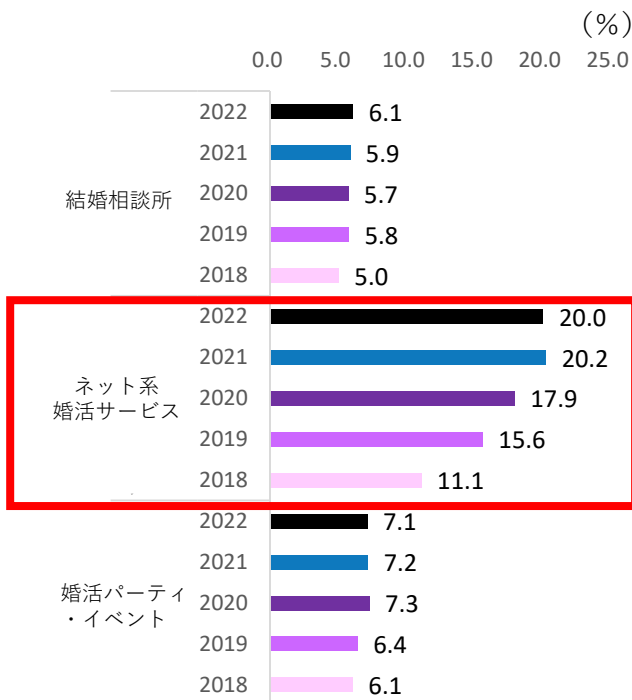
婚活サービスごとに利用経験割合をみると、ネット系婚活サービスの利用率が高い。男女どちらにおいてもネット系婚活サービス利用割合が高くなっている。

- 各婚活サービスの利用経験割合【全体・性別】（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/複数回答）



<男性>

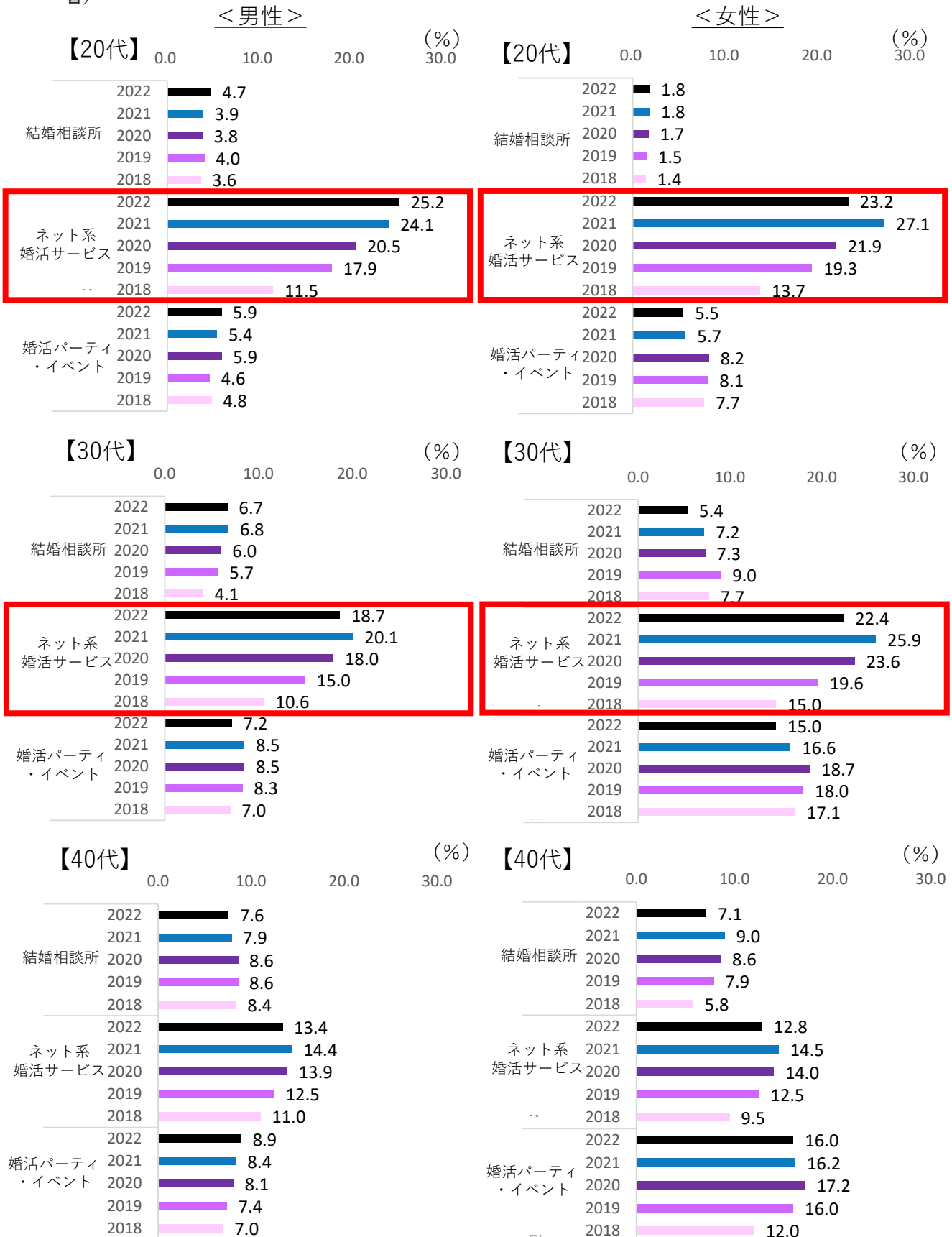
<女性>



独身者の婚活サービスの利用状況（サービス別×性年代別）

婚活サービスごとに性年代別の利用経験割合をみると、20・30代においてはネット系婚活サービスの割合が男女ともに高くなっている。

■ 各婚活サービスの利用経験割合【性年代別】（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/複数回答）



独身者の婚活サービス利用における恋人ができた割合

各年の婚活サービスを利用して恋人ができた割合は過去4年連続上昇。2021年の利用者については、45.1%となっており、過去最高を更新した。

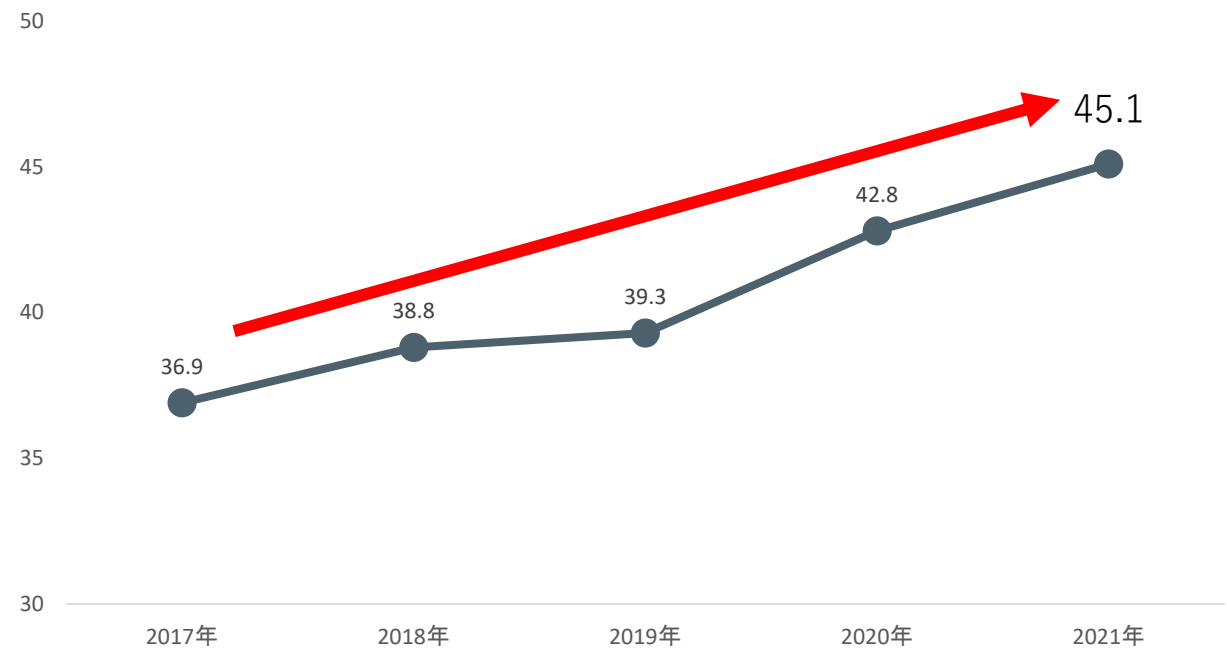
各年に婚活サービスの新規利用を開始し、恋人ができた割合も過去2年連続上昇している。2021年に新規で利用を開始した婚活サービス利用者のうち、17.7%が恋人ができたと回答。

■ 各年の婚活サービス利用者における恋人ができた割合（1次調査/各年の恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス利用中および利用経験の独身者/それぞれ単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※各調査年の前年12月末時点で結婚していない、恋愛もしくは結婚意向がある独身者の年間を通じた利用割合をもとに算出

(%)

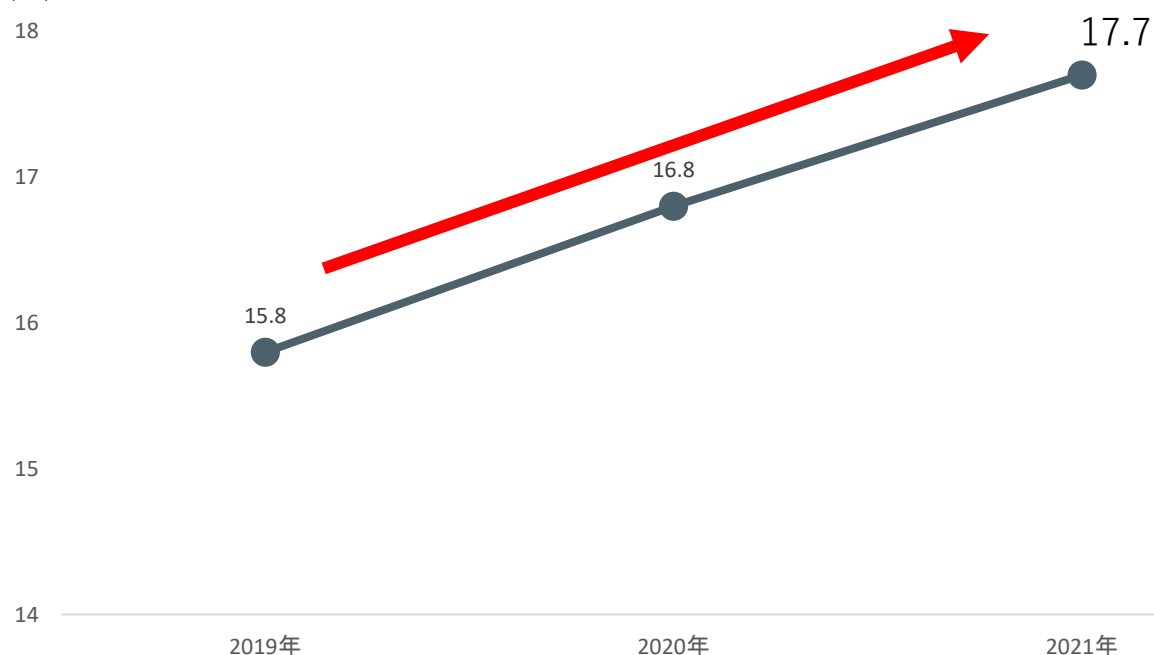


■ 各年に婚活サービスに新規加入をし、恋人ができた割合（1次調査/恋人ができた恋愛もしくは結婚意向のある独身者/それぞれ単一回答）

※各年に婚活サービスを新規利用開始した人で恋人ができた割合

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

(%)



新型コロナウイルス収束後の婚活サービス利用に対する意向

婚活サービスの現在利用者における今後の利用意向は、高い順からネット系婚活サービス(92.0%)、婚活パーティ・イベント(80.6%)、結婚相談所(70.4%)。

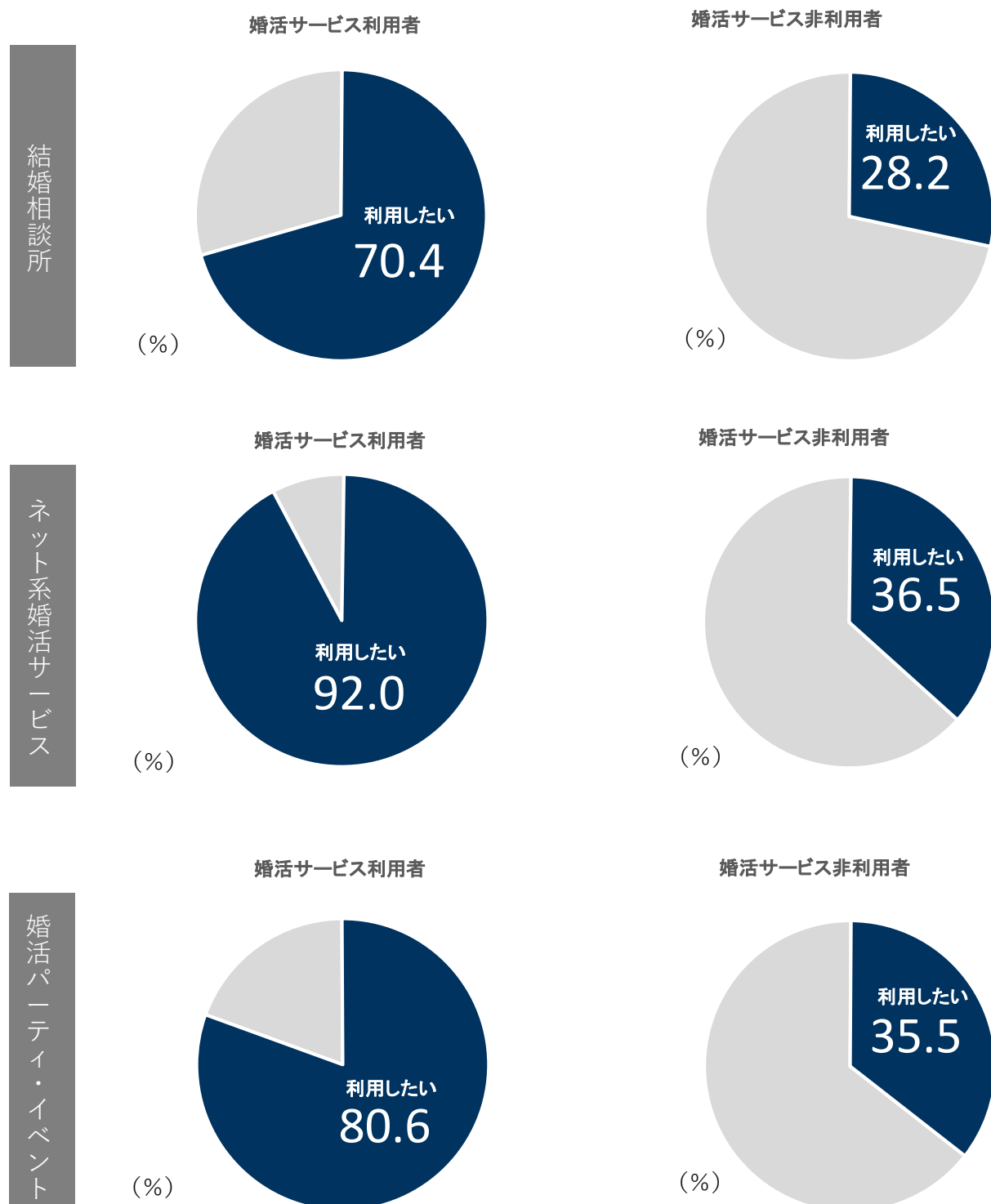
婚活サービス非利用者における今後の利用意向については、約3割程が今後の利用意向を検討。

■ 新型コロナウイルス収束後の利用意向（1次調査/恋愛もしくは結婚意向のある独身者/それぞれ単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※婚活サービス利用者：本調査タイミングで何かしらの婚活サービスを利用

※利用したい：「オンラインのみ」「リアルのみ」「オンラインとリアル併用」の計



婚活サービスに対する意識や実態の変化

婚活サービス利用者における「婚活（恋活）サービスに対するイメージ」「婚活（恋活）サービスを利用するモチベーション」は新型コロナウイルス流行前と比較して高まった。また、婚活サービスの「利用する頻度や時間」「婚活のために自分磨きをする時間」が増加。「サービスでのマッチング数」も増えている。

- 「婚活（恋活）サービス」に関する内容について、新型コロナウイルス流行前（2020年3月以前）と比べた際の意識や状況の変化（2次調査/恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス利用中の独身者/それぞれ単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※婚活サービス利用者：本調査タイミングで何らかしらの婚活サービスを利用

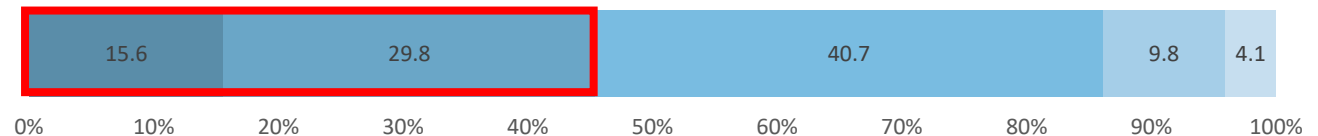
※小数第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある

■高まった ■やや高まった ■変わらない ■やや低下した ■低下した

<婚活（恋活）サービスに対するイメージ>

高まった：計45.4%

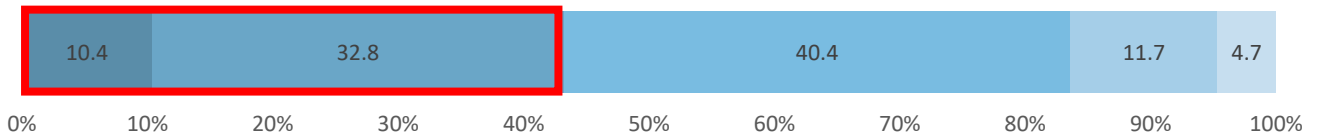
低下した：計13.9%



<婚活（恋活）サービスを利用するモチベーション>

高まった：計43.2%

低下した：計16.4%

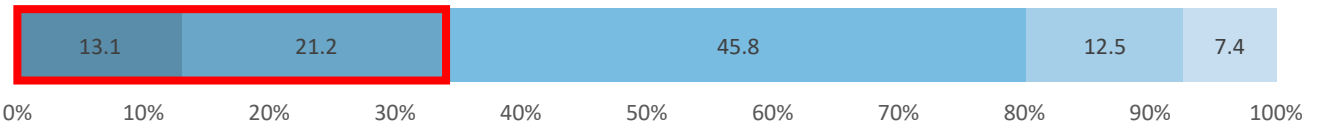


■増えた ■やや増えた ■変わらない ■やや減った ■減った

<婚活（恋活）サービスを利用する頻度や時間>

増えた：計34.3%

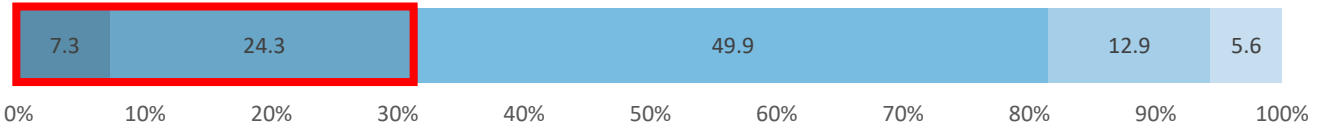
減った：計19.9%



<婚活のために自分磨きをする時間>

増えた：計31.6%

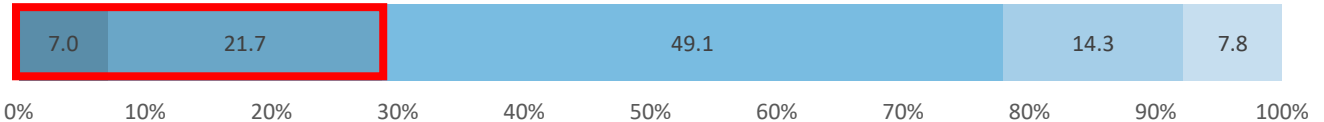
減った：計18.5%



<婚活（恋活）サービスでのマッチング数>

増えた：計28.7%

減った：計22.1%



リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>